



## (1) 施策の効果

目的	目標	目標を定量化する指標				市町村名 (都道府 県名)	地区名	事業実施期 間	区 分 (ソフト・ ハード)	メニュー	全体事業費	交付要望額	次年度要望額	交付率	備考	
		必須 又は 地域	指標	指標設定の考え方等(目 標との関連性)	現在 値( 年度)											目標値 (年 度)
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	26.5(H2 2)	26.5	伊平屋村	前泊地区	H19～H20	ハード	農業生産基盤整備 農道	48,000,000	38,400,000	0	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	農業用道路の整備 による農作物等の 輸送に係る被害等 が軽減される面積	通作、通勤及び農作物の 輸送時における快適性に 関する満足度の増加割合	5 (H18)	75 (H22)										
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	(22.1 (H21) 22.1 (H22)	22.1	伊是名村	大野山地区	(H18～H21)	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設	175,000,000	140,000,000	23,200,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	かんがい施設整備 によるさとうきびの 反収増	計画前後の農業用排水 施設整備等の整備による さとうきびの反収増	0 (H16)	(33.3 (H21) 33.3 (H22)										
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	5.8 (H22)	5.8	うるま市	与那城地区	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設	210,000,000	168,000,000	16,000,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	農業生産の向上	農業生産基盤の機能を高 めるためにおこなった排 水路整備によって作物転 換が図られる面積の割合	0 (H17)	30.0 (H22)										
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H18)	5.9 (H22)	5.9	うるま市	桃原第1地区	H19～H20	ハード	農業生産基盤整備 道路塗装工	43,000,000	34,400,000	0	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	維持管理費の節減	事業実施前後の農道維持 補修にかかる維持管理費 の削減額	30 (H18)	12 (H22)										
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	24.6 (H20)	24.6	読谷村	読谷第8地区	H18～H19	ハード	農業生産基盤整備 農道	63,000,000	50,400,000	28,800,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	維持管理費の節減	事業実施前後の農道維持 補修に係る維持管理費の 削減額	30 (H17)	12.0 (H20)										
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ昨日が確保された農地 増加面積	0 (H18)	12.6 (H20)	12.6	読谷村	読谷第9地区	H19～H20	ハード	農業生産基盤整備 農道	45,000,000	36,000,000	0	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	維持管理費の節減	事業実施前後の農道維持 補修に係る維持管理費の 削減額	30 (H17)	12.0 (H20)										

## (1) 施策の効果

目的	目標	目標を定量化する指標					市町村名 (都道府 県名)	地区名	事業実施期 間	区 分 (ソフト・ ハード)	メニュー	全体事業費	交付要望額	次年度要望額	交付率	備考	
		必須 又は 地域	指標	指標設定の考え方等(目 標との関連性)	現在 値(年 度)	目標値 (年 度)											増減 (増減 率等)
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	6.7 (H22)	6.7	糸満市	真栄平西地区	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 区画整理、農業用 排水施設	283,000,000	226,400,000	20,000,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備	地域	さとうきびから収益 性の高い作物への 転換	かんがい施設が整備され たことにより、野菜・花卉 等の収益性の高い作物へ の増加面積	3.1 (H17)	6.1 (H22)	3.0											
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	19.66 (H21)	19.66	豊見城市	鏡波第1地区	H18	ハード	農業生産基盤整備 農道	20,000,000	16,000,000	16,000,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備	地域	農作業時間の短縮 等	農道整備により運搬作業 が短縮された時間	1308 (H17)	906 (H21)	402.0											
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	8.2 (H20)	8.2	南城市	大里第15地区	H18～H19	ハード	農業生産基盤整備 農道	51,000,000	40,800,000	24,000,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備	地域	農道の通作時間の 軽減	事業実施前後の農道の整 備・保全により条件整備さ れ機能を確保し、通作時 間を軽減	528 (H17)	355 (H20)	173.0											
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	10.6 (H19)	10.6	南風原町	南風原第8地区	(H18～H19)	ハード	農業生産基盤整備 農道	(50,000,000)	(40,000,000)	(32,000,000)	80.0%	
農業生産の 基盤の整備	地域	農作業時間の短縮 等	農道舗装の整備により、 輸送・通作交通時間が短 縮された時間	2469 (H17)	2249 (H19)	220.0											
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	(6.7 (H21)) 6.7 (H22)	6.7	八重瀬町	東風平地区	(H18～H21)	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設	105,000,000	84,000,000	12,000,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備	地域	生産性の向上	農業生産基盤の機能を高 めるためにおこなった排 水路整備によって作物転 換が図られる面積の割合	0 (H17)	31.0 (H22)	31.0											
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	8.3 (H20)	8.3	八重瀬町	東風平第10地区	H18～H19	ハード	農業生産基盤整備 農道	25,000,000	20,000,000	20,000,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備	地域	農作業時間の短縮 等	農道舗装の整備により、 輸送・通作交通時間が短 縮された時間	169 (H17)	88 (H20)	81.0											
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	15.4 (H22)	15.4	南大東村	旧幕下第1地区	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 区画整理	350,000,000	280,000,000	17,600,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備	地域	さとうきびの機械化 収穫作業時間の向 上	ハーベスターによる収穫 作業の短縮された時間	11.6 (H17)	4.0 (H22)	7.6											

## (1) 施策の効果

目的	目標	目標を定量化する指標					市町村名 (都道府 県名)	地区名	事業実施期 間	区 分 (ソフト・ ハード)	メニュー	全体事業費	交付要望額	次年度要望額	交付率	備考
		必須 又は 地域	指標	指標設定の考え方等(目 標との関連性)	現在 値( 年度)	目標値 (年 度)										
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	5.5 (H22)	5.5	南大東村	H18～H21	ハード	農業生産基盤整備 区画整理	200,000,000	160,000,000	11,280,000	80.0%		
農業生産の 基盤の整備	地域	防風施設整備によ るさとうきびの生産 増収	防風施設整備による農作 物の生産増収量	4.39 (H17)	8.65 (H22)	4.3										山内地区
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H18)	9.1(H22 )	9.1	南大東村	H19～H22	ハード	農業生産基盤整備 基幹水利補修	200,000,000	160,000,000	0	80.0%		
農業生産の 基盤の整備	地域	農業用排水施設等 の整備・保全により 条件整備された機 能が確保された農 地の労働力節減効	計画前後の農業用排水施 設等の整備・保全により条 件整備された農地の労働 力節減効果	49(H1 8)	20 (H22)	29.0										南地区
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	17.2 (H22)	17.2	北大東村	H18～H21	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設 (貯水池)	530,000,000	424,000,000	24,000,000	80.0%		
農業生産の 基盤の整備	地域	農業用排水施設等 の整備・保全により 条件整備された機 能が確保された農 地の労働力節減効	計画前後の農業用排水施 設等の整備・保全により条 件整備された農地の労働 力節減効果	15.0 (H17)	5.0 (H22)	10.0										北秋葉第二地区
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	31.5 (H22)	31.5	宮古島市	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設	500,000,000	400,000,000	34,400,000	80.0%		
農業生産の 基盤の整備	地域	さとうきびから収益 性の高い作物への 転換	排水施設が整備され、湛 水面積の解消に伴う、作 物の選択拡大による作付 け品目数	4 (H17)	6(H22)	2.0										大野地区
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	22.2 (H22)	22.2	宮古島市	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 区画整理	580,000,000	464,000,000	22,899,000	80.0%		
農業生産の 基盤の整備	地域	さとうきびの機械収 穫作業時間の促進	区画整理がなされたこと により、ハーベスターによ る機械化収穫が可能と なったさとうきび畑面積の 増加割合	0 (H17)	40.0 (H22)	40.0										皆福地区
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	19.9 (H22)	19.9	宮古島市	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 区画整理	310,000,000	248,000,000	23,200,000	80.0%		
農業生産の 基盤の整備	地域	さとうきびの機械収 穫作業時間の促進	区画整理がなされたこと により、ハーベスターによ る機械化収穫が可能と なったさとうきび畑面積の 増加割合	0 (H17)	40.0 (H22)	40.0										ピサタ地区

## (1) 施策の効果

目的	目標	目標を定量化する指標					市町村名 (都道府 県名)	地区名	事業実施期 間	区 分 (ソフト・ ハード)	メニュー	全体事業費	交付要望額	次年度要望額	交付率	備考	
		必須 又は 地域	指標	指標設定の考え方等(目 標との関連性)	現在 値(年 度)	目標値 (年 度)											増減 (増減 率等)
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	17.2 (H22)	17.2	宮古島市	カギモリ地区	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 区画整理	250,000,000	200,000,000	26,400,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	さとうきびの機械収 穫作業時間の促進	区画整理がなされたこと により、ハーベスターによ る機械化収穫が可能とな ったさとうきび畑面積の 増加割合	0 (H17)	40.0 (H22)	40.0										
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	534.9 (H22)	534.9	宮古島市	宮古島第2地区	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 基幹水利施設補修	300,000,000	240,000,000	16,000,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	分水工開閉作業の 短縮	定圧定流量弁の整備によ り分水工開閉作業が短縮 された時間	240 (H17)	0 (H22)	240.0										
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	48.0 (H17)	80 (H22)	32.0	石垣市	伊原間地区	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設	480,000,000	384,000,000	32,000,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	牧草地における作 業効率性の向上	改良整備事業により牧草 地におけるスプリンクラー の数が減少したことでセ ット作業が効率的となり、 短縮された作業時間	66.0 (H17)	33.0 (H22)	33.0										
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	(40.5 (H21)) 40.5 (H22)	40.5	石垣市	平原地地区	(H18～H21)	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設	160,000,000	128,000,000	36,800,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	農作業(水管理)時 間の短縮	かんがい施設整備によ り水管理作業短縮された 労働時間	280.0 (H17)	(80.0 (H21)) 80.0 (H22)	200.0										
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	(315.8 (H20)) 315.8 (H22)	315.8	石垣市	宮良川9期地区	(H18～H20)	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設	350,000,000	280,000,000	13,600,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	水路の機能確保及 び維持管理費の節 減	水路の機能確保による漏 水補修費の節減	858 (H17)	(0 (H20)) 0 (H22)	858.0										
農業生産の 基盤の整備		必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H18)	174.9(H 21)	174.9	石垣市	宮良川10期地区	H19～H21	ハード	農業生産基盤整備 農業用排水施設	190,000,000	152,000,000	0	80.0%	
農業生産の 基盤の整備		地域	水路の機能確保及 び維持管理費の節 減	水路の機能確保による漏 水補修費の節減	290 (H18)	0 (H21)	290.0										

(1) 施策の効果

目的	目標	目標を定量化する指標					市町村名 (都道府 県名)	地区名	事業実施期 間	区 分 (ソフト・ ハード)	メニュー	全体事業費	交付要望額	次年度要望額	交付率	備考
		必須 又は 地域	指標	指標設定の考え方等(目 標との関連性)	現在 値 ( 年度)	目標値 ( 年度)										
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	24.9 (H22)	24.9	竹富町 山田野地区	H18～H22	ハード	農業生産基盤整備 暗きょ排水	(124,000,000)	(99,200,000)	(32,000,000)	80.0%		
農業生産の 基盤の整備		地域	さとうきびの適期(9 月～10月)植付面 積の増加	暗渠排水の整備により地 下水の排水不良被害が解 消されたことで増加するさ とうきびの適期植付面積 の割合	43 (H17)	80.0 (H22)					37.0	124,000,000	99,200,000	10,112,000	80.0%	変更有り
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H17)	82.4 (H22)	82.4	竹富町 竹富第13地区	H18	ハード	農業生産基盤整備 暗きょ排水	26,000,000	20,800,000	20,800,000	80.0%		
農業生産の 基盤の整備		地域	走行経費の削減	計画で農道が整備された ことにより縮減された走行 経費	11274 (H17)	10171 (H22)					1103.0	26,000,000	20,800,000	20,800,000	80.0%	
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0(H18)	26.3 (H21)	26.3	多良間村 多良間第6地区	H19～H20	ハード	農業生産基盤整備 農道	40,000,000	32,000,000	0	80.0%		
農業生産の 基盤の整備		地域	施設機能向上効果 の確認	施設への満足度増加割合	0(H18)	80 (H21)					80.0	40,000,000	32,000,000	0	80.0%	変更有り
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	農業用排水施設等の整 備・保全により条件整備さ れ機能が確保された農地 の増加面積	0 (H18)	9.8 (H21)	9.8	名護市 名護第4地区	H19～H20	ハード	農業生産基盤整備 農道	(0)	(0)	(0)			
農業生産の 基盤の整備		地域	施設満足度の向上	更新・改修前後で施設へ の満足度増加割合	0 (H18)	75.0 (H21)					62.0	30,000,000	24,000,000	0	80.0%	新規
農業生産の 基盤の整備	必須	農業用排水施設 等の機能確保	計画前後の農業用排水施 設等の整備・保全により条 件整備された農地・増加 面積	0 (H18)	7.2 (H20)	7.2	渡名喜村 渡名喜第4地区	H19～H20	ハード	農業生産基盤整備 農道	(0)	(0)	(0)			
農業生産の 基盤の整備		地域	維持管理費の節減	事業実施前後の農道維持 補修にかかる維持管理費 の削減額	30 (H18)	12.0 (H20)					18.0	50,000,000	40,000,000	0	80.0%	新規
指 標 計											(6,131,000,000)	(4,904,800,000)	(583,699,000)	80.0%		
指 標 計											6,767,000,000	5,413,600,000	561,643,000	80.0%		
目的別計											(6,131,000,000)	(4,904,800,000)	(583,699,000)	80.0%		
目的別計											6,767,000,000	5,413,600,000	561,643,000	80.0%		

## (1) 施策の効果

目的	目標	目標を定量化する指標						市町村名 (都道府 県名)	地区名	事業実施期 間	区 分 (ソフト・ ハード)	メニュー	全体事業費	交付要望額	次年度要望額	交付率	備考
		必須 又は 地域	指標	指標設定の考え方等(目 標との関連性)	現在 値( 年度)	目標値 (年 度)	増減 (増減 率等)										
中山間地域 等の振興	地域産物の販売額の増 加	必須	地域産物の販売額 の増加率	作物の栽培面積の拡大から 販売額の増加を図り、 農家の所得向上を目標に する。	10502 (H18)	23510 (H20)	123.9 (%)	宮古島市	平良地区	H18～H19	ハード	農林漁業の振興 農業生産施設整備、 山村振興等地域再生 の連携推進	8,187,000	5,458,000	5,054,000	66.7%	
中山間地域 等の振興		必須	地域産物の販売額 の増加率 (サトウキビ・カボチャ)	地域資源循環活用施設の 整備により、サトウキビ、カ ボチャへの施肥による反収増 が見込まれる。	397965 (H17)	426119 (H21)	7.07 (%)	多良間村	多良間地区	H18～H19	ハード	農林漁業の振興 農業生産施設整備、 山村振興等地域再生 の連携推進	166,709,000	111,139,000	666,000	66.7%	
中山間地域 等の振興		地域	家畜排泄物の処理 頭数の増加	施設の整備により、家畜 排泄物が適正に管理され て地下水保全が見込まれ る。	400 (H17)	1167 (H21)	191.0 (%)										
指 標 計												174,896,000	116,597,000	5,720,000	66.7%		
目的別計												174,896,000	116,597,000	5,720,000	66.7%		
都道府県計												(6,305,896,000)	(5,021,397,000)	(589,419,000)	79.6%		
												6,941,896,000	5,530,197,000	567,363,000	79.7%		







